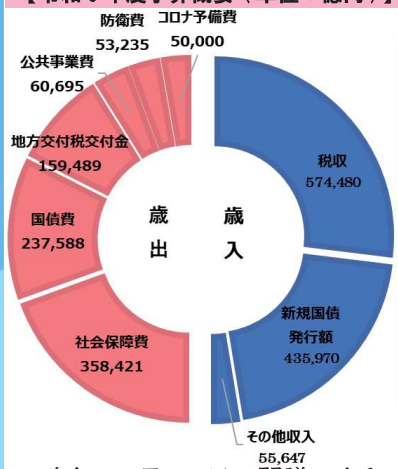
令和２年度 第３次補正予算と令和３年度予算のPOINT

～『感染拡大防止』と『経済再生』を両立し、中長期的課題へも挑戦する予算～

【令和３年度予算概要（単位：億円）】



令和２年度補正予算（第３号）の概要

Ⅰ．新型コロナウイルス感染症の拡大防止策　43,581億円

1．医療提供体制の確保と医療機関等への支援　16,447億円
- ○ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（病床や宿泊療養施設等の確保等）〔13,011億円〕
- ○ 診療・検査医療機関をはじめとした医療機関等における感染拡大防止等の支援〔1,071億円〕
- ○ 医療機関等の資金繰り支援〔1,037億円〕 ○ 小児科等の医療機関等に対する診療報酬による支援〔71億円〕 等

2．検査体制の充実、ワクチン接種体制等の整備　8,204億円
- ○ 新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備・接種の実施〔5,736億円〕
- ○ PCR検査・抗原検査の実施等〔672億円〕 等

3．知見に基づく感染防止対策の徹底　17,487億円
- ○ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〔15,000億円〕
- ○ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期に伴う感染症対策等事業〔959億円〕 等

4．感染症の収束に向けた国際協力　1,444億円
- ○ アフリカ、中東、アジア・大洋州地域への国際機関等を通じた支援〔792億円〕 等

Ⅱ．ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現　116,766億円

1．デジタル改革・グリーン社会の実現　28,256億円
- ○ 地方団体のデジタル基盤改革支援〔1,788億円〕 ○ マイナンバーカードの普及促進〔1,336億円〕
- ○ ポスト５Ｇ・Beyond５Ｇ（６Ｇ）研究開発支援〔1,400億円〕
- ○ カーボンニュートラルに向けた革新的な技術開発支援のための基金の創設〔20,000億円〕
- ○ グリーン住宅ポイント制度の創設〔1,094億円〕 等

2．経済構造の転換・イノベーション等による生産性向上　23,959億円
- ○ 中堅・中小企業の経営転換支援（事業再構築補助金）〔11,485億円〕 ○ 大学ファンド〔5,000億円〕
- ○ 持続化補助金等〔2,300億円〕 ○ 国内外のサプライチェーン強靭化支援〔2,225億円〕
- ○ 地域公共交通の維持・活性化への重点的支援〔150億円〕 等

3．地域・社会・雇用における民需主導の好循環の実現　64,551億円
- ○ 中小・小規模事業者等への資金繰り支援〔32,049億円〕 ○ 地方創生臨時交付金（再掲）
- ○ Go To トラベル〔10,311億円〕、Go To イート〔515億円〕
- ○ 雇用調整助成金の特例措置〔5,430億円〕 ○ 緊急小口資金等の特例措置〔4,199億円〕
- ○ 観光（インバウンド復活に向けた基盤整備）〔650億円〕 ○ 不妊治療に係る助成措置の拡充〔370億円〕
- ○ 水田の畑地化・汎用化・大区画化等による高収益化の推進〔700億円〕
- ○ 新型コロナウ-イルス感染症セーフティネット-強化交付金（生活困窮者支援・自殺対策等）〔140億円〕 等

Ⅲ．防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保　31,414億円

1．防災・減災、国土強靱化の推進　20,936億円
- ○ 防災・減災、国土強靱化の推進（公共事業）〔16,532億円〕 等

（注）２．「自然災害からの復旧・復興の加速」等に整理している事業も含め、防災・減災、国土強靱化関係予算全体で22,604億円を確保。

2．自然災害からの復旧・復興の加速　6,337億円
- ○ 災害復旧等事業費〔6,057億円〕 ○ 災害等廃棄物処理〔106億円〕 等

3．国民の安全・安心の確保　4,141億円
- ○ 自衛隊の安定的な運用態勢の確保〔3,017億円〕 等

■ 補正予算の追加歳出計　191,761億円

（参考１）令和２年度補正予算（第３号）においては、上記「経済対策」の実行に係る国費に加え、国際分担金等の追加財政需要〔252億円〕等を計上。
（参考２）上記のほか、労働保険特別会計において9,320億円、エネルギー対策特別会計において169億円の歳出追加等を計上。

昨年12月21日の閣議で令和３年度予算案を決定しました。歳出では、過去最大の一般会計総額となる106兆6,097億円と2020年度の当初予算の1.03倍の３兆9,517億円上回りました。新規発行国債は当初予算比較で11年ぶりに前年度を上回り歳入不足を補うための赤字国債が37兆2,560億円、建設国債が６兆3,410億円の合わせて43兆5,970億円に上りました。歳入では、税収が新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度当初予算より６兆650億円少ない57兆4480億円となりました。また、令和２年度の第３次補正予算案は、総額19兆1,761億円となりました。

新型コロナ対策

◆令和２年度 第３次補正予算で４兆3,581億円を措置
- ・病床、宿泊療養施設の確保（1兆3,011億円）
- ・新型コロナワクチン接種体制整備・接種等を措置（5,736億円）
- ・PCR検査、抗原検査の実施等（672億円）
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（1兆5,000億円）

◆令和３年度予算においても感染症対応を引き続き推進
- ・新型コロナ感染症予備費を措置（５兆円）
- ・感染症危機管理体制、保健所体制の整備
- ・感染症対策のための診療報酬の臨時的措置
- ・医療機器の国内生産能力の増強
- ・非正規雇用労働者や女性の求職者支援（9.1億円）
- ・新規学卒者への就職支援強化（0.9億円）

外交 防衛 災害

610億円 増

◆令和２年度 第３次補正予算にて
災害復旧等事業費・災害廃棄物処理（6,163億円）
自衛隊の安定的運用態勢確保（3,017億円）

◆新型コロナウイルス感染症の保健分野での
ODA拡充（5,680億円）、旅券電子申請に向け
デジタル化推進外交領事実施体制を強化

◆従来領域の能力強化、新領域強化で+1.1%
戦闘機・護衛艦の整備による海空領域の能力の強化
対空誘導弾の取得による総合ミサイル防空能力の向上
新領域（宇宙・サイバー・電磁波）の作戦能力を強化
次期戦闘機に係る研究開発など次世代技術の獲得推進

社会保障

1,507億円 増

◆令和２年度 第３次補正予算について
- ・待機児童解消に向けた保育の受け皿整備（317億円）
- ・不妊治療の助成の拡充（370億円）
- ・保健医療情報等の利活用（51億円）
- ・介護、福祉分野におけるデジタル化等の推進（36億円）
- ・処方箋等の電子化に向けたシステム構築（61億円）
- ・保育分野、障害福祉分野における ICT等 導入支援（17.3億円）

◆令和３年度 予算において
- ・介護報酬改定（+196億円）
- ・不妊治療の保険適用に向けて助成拡充
- ・障害福祉サービス等報酬改定（+86億円）で必要経費の確保
- ・毎年薬価改定の実現により 国民負担を軽減（国費1,001億円）
- ・不妊治療の保険適用に向けて助成の拡充
- ・不育症検査への助成（新規12億円計上）
- ・不妊症、不育症に対する相談支援等拡充
（一部新規６億3,000万円を計上）

デジタル社会 グリーン社会 科学技術の発展

◆令和２年度 第３次補正予算
- ・地方団体のデジタル基盤改革支援（1,788億円）
- ・マイナンバーカードの普及促進（1,336億円）
- ・大学ファンド（5,000億円）
- ・カーボンニュートラルに向けた
革新的技術開発支援のための基金創設（2兆円）
- ・グリーン住宅ポイント制度の創設（1,094億円）

◆令和３年度予算において更に
グリーン社会の実現に向けて、二酸化炭素の排出削減に
取り組む企業に対する成果連動型の低利融資制度の創設
（今後3年間で1兆円の融資規模）やESG投資の呼込み支援を実施
再エネ・省エネ等の研究開発・導入を支援

◆デジタル社会の実現に向けて（3,000億円規模）
- ・令和３年９月にデジタル庁を設置
- ・政府全体の情報システム一元管理
- ・500名規模体制での官民高度専門人材を結集

2020年11月
自民党品川総支部 時局講演会
環境問題について語る
小泉環境大臣と石原ひろたか

2019年10月
環境副大臣として
宮城県角田市を訪問し
災害廃棄物仮置場等を視察

2020年４月コロナ対策会議